《学校教育目標》 **元気・本気・笑顔があふれる学校**

令和6年度の重点目標：「より良く生きようとする向上心と実践力を持つたくましい子どもの育成」

○学習指導要領

- ・社会に開かれた教育課程
- ・カリキュラムマネジメント
- ・主体的・対話的で深い学び

○第6次山形県教育振興計画(後期計画令和2年度～)

- ・いのちをつなぐ人、学びを生かす人、地域をつくる人
- ・探究型学習の推進

○鶴岡市学校教育重点目標

- ・逞しさ・優しさ・賢さを育む学校教育の推進

○保護者・地域・教師の願い

- ・子どもを中心にした連携・協力
- ・あいさつ 読書 家庭学習
- ・生活リズム セーブメディア

《本校児童の良さと課題》

- 素直で明るく、心が安定している児童が多い。
- 与えられたこと、やるべきことは真面目に取り組む。
- 縦割り活動等により優しい心が育っている。
- 地域や他校との交流を通して、人・物・自然と関わって学ぶ力がつき、地域への関心を深めている。
- ▲失敗をおそれず、くじけず、より高い価値あるものを目指す姿勢
- ▲他との関わりの中で育まれる自己有用感と他者理解
- ▲読解力、応用・活用する力、表現力の向上
- ▲自己管理の力・規範意識(生活リズム、メディアとの関わり)
- ▲読書の習慣づくり
- ▲主体的学び、家庭学習の質の向上

こころ

- 他者の思いを尊重し、
協働してより良い生活を創る子ども

あたま

- 楽しさ・喜びを感じながら、
主体的に学ぶ子ども

からだ

- 運動に親しみ、自らの健康・
安全を管理できる子ども

◎自他の願い・思いを大切にし、自律的・主体的に活動できる子ども

⇒「自分たちの学校・学級は自分たちで作る」

- ・自治意識・自浄作用のある児童会活動
- ・話し合いを大切に、主体性を育む特別活動
- ・規範意識の育成(ルール・マナーの定着・言葉づかい)

◎他者との関わりの中で自己有用感を高め、社会性を身につけた子ども

⇒心を掘り起こし、実践力を育む

- ・学級経営(安心・安全・居場所作り)
- ・道德教育の充実(多様な価値観)
- ・いじめ防止・不登校の予防
- (未然防止・早期発見・早期対応)※組織的対応
- ・あいさつ・返事の大切さ

(あいさつ運動推進学校 R6～R7)

※PTA 地域との連携

- ・縦割り活動の充実、他校との交流

◎知的好奇心にあふれる子ども

◎主体的・協働的に学ぶ良さに気づき、そこで得た力を、個の深い学びにつなげることができる子ども

⇒学校研究を核とした授業改善

- ・学力向上と指導力の向上・0JTの充実

⇒「い・つ・き」の学びの日常化

- ・教職員と児童が目指す授業を共有
- ・共に考える「い・つ・き」の学び
- ⇒学習指導要領の趣旨と内容を踏まえた資質能力の確実な育成
- ・キャリア教育・GIGA活用の推進
- ・見方・考え方を働かせた探究的な学習
- ・表現力の向上(言語活動の充実・アウトプットの場面)

⇒心と言葉を育み、学びを深める読書活動の充実(朝読書の充実・読書の日の設定)

⇒授業と運動した家庭学習指導

◎達成感・成就感を味わい、楽しく運動をする子ども

⇒運動特性に触れさせる楽しい教科体育の指導

⇒めあてをもって精一杯取り組む「いつきっ子運動」の充実

- ・持久走 ・なわとび

◎健康・安全への知識と実践力を持つ子ども

⇒主体的に取り組む「早寝・早起き・朝ごはん運動」「セーブメディア」

- ・家庭との連携、協力の強化
- ・「齋小メディア18の約束」の継続
- ・情報モラルとリテラシーの育成

⇒命を守る、危機回避能力の育成

- ・実際場面を想定した避難訓練、交通安全指導
- ・登下校の安全

地域の子どもを育てる、地域とともにある学校をめざす

家庭

会話と対話・体験を通し「人として生きる基本を身につける場」

- 基本的生活習慣の確立
- 心身の健康
- 集団の一員として
- 挨拶・関わり・思いやり

学校

対話と連携・協働

こんな齋っ子に！

願いの共有

- 安全・安心 連携・協力
- 学校運営協議会
- いつき見守り隊
- 齋地区児童安全対策協議会

交流

地域の先生
総合、キャリア教育等

地域

貢献・発信

地域・社会のために
できること